



会報 第68号

令和6年1月23日

公益社団法人滝沢市シルバー人材センター

〒020-0654 岩手県滝沢市中鶴飼 55 番地

TEL (019) 699-3015

FAX (019) 699-3039



新年のあいさつ

理事長 齊藤裕夫

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様やご家族におかれましては、健やかに良い年を迎えられ、心よりお喜び申し上げます。

昨年はコロナ感染症の扱いが2類から5類となり、インフルエンザと同類となりました。全国的に減少傾向が見られるものの、終息には至らず、年末・年始では三密の場も多く、基本行動の遵守が肝要で、インフルエンザ対応も含め、慎重な行動が求められています。

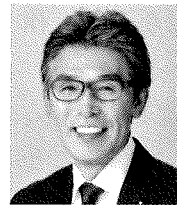
センター業績の請負・委任は、11月末での前年比は107%、派遣労働では前年比の97%ですが県下では第2位です。また独自事業でも順調な進捗で、会員の真摯な取組みに深謝します。

主要行事の安全大会では会員71人が参加、内容は会員自ら「事故のないまちづくり」をテーマに防災防犯課の「慣れを戒め」・「手間を惜しまず」を、また福祉部からは、「熱中症予防のポイント」などの講話は生活の支えとなりました。

滝祭でのシルバークロワフェアは、絵画・水墨画・手作り品等の展示の他、ブースでの物販も行われ好評でした。ボランティア活動では10月20日、会員45人が参加し、ふるさと交流館の植栽剪定や除草活動の実施後は、会員手作りの「芋の子汁」に併せ「市長を囲む会」が開催され、和気あいあいの日となりました。

就業中の安全対策として、活動内容を見直し、屋外の職群に対し各3回巡回、安全確認を実施致しました。

迎えました新年は、センター設立20周年で、記念事業への取組みの検討や、組織機能の発揮には「一人一会員の声掛けと一仕事の紹介」運動の展開、社会奉仕として雑巾運動を継続、会員が社会の担い手として「健康にまさる富はなし」をモットーに、元気老人を多数輩出することを標榜し、年頭のご挨拶とします。



年頭 の 挨拶

滝沢市長 武田 哲

あけましておめでとうございます。

公益社団法人滝沢市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、晴れやかな新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同類である5類へ引き下げられたことにより様々な社会経済活動が活発に動き始め、市民生活に大きな変化が生まれた年となりました。

このような変化の中で、本市は令和6年1月1日をもって市政10周年を迎えました。新しい滝沢市の未来を築くため、市民の皆さんの期待にこたえられるよう、より一層精進し市政運営に取り組んでまいります。

さて、貴センターにおかれましては、市役所周辺の草取り、ふるさと交流館の低木や垣根の剪定作業、ビッググループ滝沢の清掃等のボランティア活動のほか、受託作業や各種事業を通じて地域社会へ貢献いただいております。改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

貴センターは、設立から今年で20年目、「公益社団法人」としては11年目を迎えられる。会員が健康で意欲と能力がある限り働き続けることができる「生涯現役社会」を実現し、お一人お一人が地域社会を支える一員としてご活躍いただいております。今後ますますのご活躍を期待するとともに、「自主・自立、共働・共助」の理念の下、皆様が健康で元気に活躍していただけるよう市といたしましても引き続き支援してまいります。

結びに、公益社団法人滝沢市シルバー人材センター役員、会員の皆様お一人おひとりのご健康と、さらなるご活躍をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

市長を囲む会とボランティア活動

◆市長を囲む会

10月20日に総勢45名の皆さんにより、定例となった当センターのボランティア活動「ふるさと交流館」終了後、武田滝沢市長をお迎えし、窓越しに見える整備された庭を觀賞しながら、作業結果に満足感を抱きました。

その後、会員が作った芋の子汁を食しながら、シルバーの会員は元気で日常生活をしていることを市長が認識され、今後の活躍への期待の言葉を頂き、大いに交流を深めました。



囲む会の風景



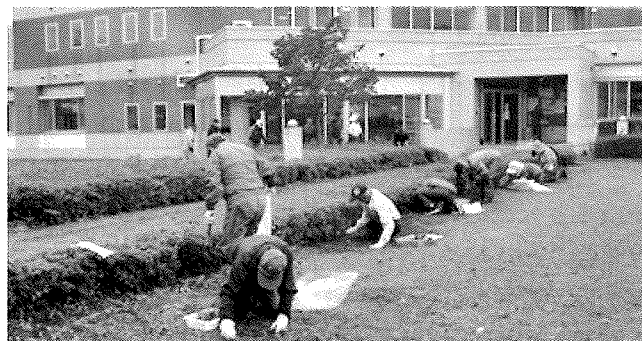
市長を囲む会の参加者

◆ふるさと交流館でのボランティア活動

シルバー人材センターでは自主活動に対する意識や、共助の精神で共働するという意識を高めるためボランティア活動を毎年行っております。

今回は、昨年に続き「ふるさと交流館」でボランティア活動を10月20日に9時～11時までの予定で行い、総務部会と女性部会の企画「芋の子会及び市長を囲む会」を開催しました。

ボランティア活動には、草取班、剪定班から毎年多くの参加をいただいております、今回は「芋の子会」の準備も含め多くの方に協力をいただきました。ボランティア活動後「芋の子会」の準備が終わるまで、ロビーで会員同志の交流がありました。



ふるさと交流館の草取り風景



剪定作業



芋の子調理風景

「シルバークフェア2023」と「滝祭」を同時開催

ビッグルーフ滝沢で、令和5年8月26日(土)と27日(日)に開催いたしました。

滝沢市シルバー人材センターの事業及び活動を広く紹介し、多くの皆様にご理解いただき、会員募集の拡大を図ることを目的とするものです。

- ・例年通り会員各位の精魂込めた多種・多数の作品展示
- ・趣味・特技を生かし、個性豊かな手作り小物の販売
- ・子どもたちと一緒に「くじ引き」コーナー
- ・大人も楽しんだ「塗り絵」コーナー
- ・経験豊かな説明の庭木相談
- ・会話も明るく弾む聞き取りアンケート



舞台上で会員による活動紹介

PRタイムには剪定・刈払い・環境・草取りとパフォーマンス豊かに就業スタイルと道具をもって壇上に登り、仕事に対する自覚・責任感を大いに表現しました。メンバーそれぞれの仕事内容を紹介する時間を設ければ、更によかったと思えました。

酷暑の中、共働、共助の結果どのコーナーでも、たくさんのお客様に恵まれ充実の二日間、ご協力頂き、会員の皆様に感謝申し上げます。



小物の販売風景



塗り絵の参加者



抽選会の風景

合同班会議開催(元村・第二元村・柳沢)

11月19日にふるさと交流館で3班合同の地域班会議を開催しました。上館班長(元村)の司会進行で参加者15名の自己紹介を終了後、日ごろの話題や、シルバーに関する色々な質問に対し、佐々木理事が応える形になり、大いに盛り上がっていました。

会員による差し入れや女性会員の手作り「芋の子汁」の評判も良く、懇談会では初参加の方から、身近に思いのほか多くのシルバー会員が居ることを知ることが出来たとの話もいただきました。



スマホ教室を開催

11月16日と12月19日全2回にわたり、市職員を講師に迎え、SNS使い方教室を開催いたしました。一般市民、会員を対象にご案内いただきましたが、市民の方の申し込みが多かったため、今回は市民を優先し、13名の方がスマートフォンの操作やインターネットを安心して利用するための注意点、SNSの活用法などを、和気あいあいとした雰囲気の中で学びました。「身内に聞くと冷たい対応だが、講習会では優しく教えてくれる」と大変好評でした。会員向けのスマホ講習会は改めて開催いたします。

川前班による地域ボランティア活動

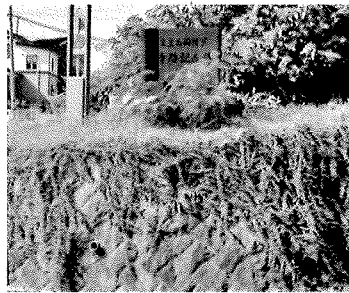
3年ぶりに地域班活動が再開され、川前班は地域への貢献の一環として、8月27日に3年ぶりに開催された川前夏祭り会場を整備（夏祭りの実行委員会を支援「草刈り、剪定など」）し、10月14、28日には昨年まで川前老人クラブによって行われていた清掃活動を引継ぐ形で滝沢駅前広場の環境整備「草刈り、剪定枝落し」をしました。3回の活動で延べ25名が参加し、懇親会でも交流を深めました。



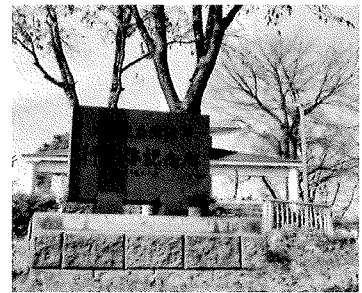
滝沢駅前ロータリー集合写真



作業中表示板



整備前(記念碑)



天皇后両陛下下行幸啓記念碑

◆事務局だより

今回の会報に、来年度の職群班希望報告書を同封しております。1月31日までにご返送ください。

2月28日に職群班会議、3月26日には役員及び地域班長会議を開催する予定です。

◆会員状況

令和5年3月31日現在	226名
令和5年4月以降入会者	26名
令和5年4月以降退会者	10名
令和5年12月末時点	242名

◆配分金支払日

12月分	1月31日	1月分	2月29日
2月分	3月29日	3月分	4月30日
4月分	5月31日	5月分	6月28日
6月分	7月31日	7月分	8月30日

◆編集後記

会員の皆さん如何お過ごしでしょうか？
2020年から発生したコロナ禍からも解放され、皆さんの活動も活発になられているものと思います。今年も地域班活動も再開され今回滝沢駅前ロータリーの環境整備をさせて戴いたことはとても有意義でした。私は滝沢村に引っ越して来て34年が経ちましたが、滝沢駅で新たな発見がありました。それは一つの石碑でした。それは昭和49年に開催された全国植樹祭の時に建立された「天皇后両陛下下行幸啓記念碑」でした。アジサイに囲まれ全く気付くことができませんでしたが、整備することにより非常に目立つ存在になったことに感動しました。皆さんも地元にある記念碑を調べてみては如何でしょうか。

会報編集委員 寺澤 昭彦

